

使用上の注意改訂のお知らせ

2026年6月

ファイザー株式会社

深在性真菌症治療剤

日本薬局方 ポリコナゾール錠

ブイフェンド[®]錠50mg

ブイフェンド[®]錠200mg

VFEND[®] Tablets

ポリコナゾールドライシロップ

ブイフェンド[®]ドライシロップ 2800mg

VFEND[®] Dry Syrup 2800mg

日本薬局方 注射用ポリコナゾール

ブイフェンド[®] 200mg 静注用

VFEND[®] for Intravenous Use

劇薬、処方箋医薬品（注意 - 医師等の処方箋により使用すること）

標記製品の電子化された添付文書（以下、電子添文）の「使用上の注意」を次のとおり自主改訂いたしますのでご案内申し上げます。

今後のご使用に際しましては、以下の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

【改訂内容】

改訂前	改訂後（下線部は改訂箇所）
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1 次の薬剤を投与中の患者：リファンピシン、リファブチン、エファビレンツ、リトナビル、ロピナビル・リトナビル、ニルマトレルビル・リトナビル、カルバマゼピン、バルビタール、フェノバルビタール、ピモジド、キニジン、イバブラジン、<u>麦角アルカロイド（エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン）、</u>トリアゾラム、チカグレロル、アスナプレビル、ロミタピド、プロナンセリン、スポレキサント、リバーロキサバン、アゼルニジピン、オルメサルタン <u>メドキシミル・アゼルニジピン、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期）、アナ</u></p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1 次の薬剤を投与中の患者：リファンピシン、リファブチン、エファビレンツ、リトナビル、ロピナビル・リトナビル、ニルマトレルビル・リトナビル、カルバマゼピン、バルビタール、フェノバルビタール、ピモジド、キニジン、イバブラジン、<u>麦角アルカロイド（エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン）、</u>トリアゾラム、チカグレロル、アスナプレビル、ロミタピド、プロナンセリン、スポレキサント、リバーロキサバン、アゼルニジピン、オルメサルタン <u>メドキシミル・アゼルニジピン、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期）、アナ</u></p>

改訂前	改訂後（下線部は改訂箇所）																																	
<p>モレリン、ルラシドン、イサブコナゾニウム、フィネレノン、エブレレノン、ボクロスポリン、マバカムテン [10.1 参照] 2.2~2.3 省略</p>	<p>モレリン、ルラシドン、イサブコナゾニウム、フィネレノン、エブレレノン、ボクロスポリン、<u>ボルノレキサント</u>、<u>マバカムテン</u>、<u>パロバロテン</u>、<u>ロナファルニブ</u> [10.1 参照] 2.2~2.3 省略</p>																																	
<p>10. 相互作用 省略</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">薬剤名等</th> <th style="text-align: center;">臨床症状・措置方法</th> <th style="text-align: center;">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">省略</td> </tr> <tr> <td>ボクロスポリン (ルブキネス) [2.1 参照]</td> <td style="text-align: center;">省略</td> <td style="text-align: center;">省略</td> </tr> <tr> <td>マバカムテン (カムザイオス) [2.1 参照]</td> <td style="text-align: center;">省略</td> <td style="text-align: center;">省略</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	省略			ボクロスポリン (ルブキネス) [2.1 参照]	省略	省略	マバカムテン (カムザイオス) [2.1 参照]	省略	省略	<p>10. 相互作用 省略</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">薬剤名等</th> <th style="text-align: center;">臨床症状・措置方法</th> <th style="text-align: center;">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">省略</td> </tr> <tr> <td>ボクロスポリン (ルブキネス) [2.1 参照]</td> <td style="text-align: center;">省略</td> <td style="text-align: center;">省略</td> </tr> <tr> <td><u>ボルノレキサント</u> (<u>ボルズイ</u>) [2.1 参照]</td> <td>本剤との併用により、ボルノレキサントの血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。</td> <td>本剤はボルノレキサントの代謝酵素 (CYP3A4) を阻害する。</td> </tr> <tr> <td>マバカムテン (カムザイオス) [2.1 参照]</td> <td style="text-align: center;">省略</td> <td style="text-align: center;">省略</td> </tr> <tr> <td><u>パロバロテン</u> (<u>ソホノス</u>) [2.1 参照]</td> <td>本剤との併用により、パロバロテンの血中濃度が上昇し、副作用が増強するおそれがある。</td> <td>本剤はパロバロテンの代謝酵素 (CYP3A) を阻害する。</td> </tr> <tr> <td><u>ロナファルニブ</u> (<u>ゾキンヴィ</u>) [2.1 参照]</td> <td>本剤との併用により、ロナファルニブの血中濃度が上昇し、副作用が増強するおそれがある。</td> <td>本剤はロナファルニブの代謝酵素 (CYP3A) を阻害する。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	省略			ボクロスポリン (ルブキネス) [2.1 参照]	省略	省略	<u>ボルノレキサント</u> (<u>ボルズイ</u>) [2.1 参照]	本剤との併用により、ボルノレキサントの血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。	本剤はボルノレキサントの代謝酵素 (CYP3A4) を阻害する。	マバカムテン (カムザイオス) [2.1 参照]	省略	省略	<u>パロバロテン</u> (<u>ソホノス</u>) [2.1 参照]	本剤との併用により、パロバロテンの血中濃度が上昇し、副作用が増強するおそれがある。	本剤はパロバロテンの代謝酵素 (CYP3A) を阻害する。	<u>ロナファルニブ</u> (<u>ゾキンヴィ</u>) [2.1 参照]	本剤との併用により、ロナファルニブの血中濃度が上昇し、副作用が増強するおそれがある。	本剤はロナファルニブの代謝酵素 (CYP3A) を阻害する。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																
省略																																		
ボクロスポリン (ルブキネス) [2.1 参照]	省略	省略																																
マバカムテン (カムザイオス) [2.1 参照]	省略	省略																																
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																
省略																																		
ボクロスポリン (ルブキネス) [2.1 参照]	省略	省略																																
<u>ボルノレキサント</u> (<u>ボルズイ</u>) [2.1 参照]	本剤との併用により、ボルノレキサントの血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。	本剤はボルノレキサントの代謝酵素 (CYP3A4) を阻害する。																																
マバカムテン (カムザイオス) [2.1 参照]	省略	省略																																
<u>パロバロテン</u> (<u>ソホノス</u>) [2.1 参照]	本剤との併用により、パロバロテンの血中濃度が上昇し、副作用が増強するおそれがある。	本剤はパロバロテンの代謝酵素 (CYP3A) を阻害する。																																
<u>ロナファルニブ</u> (<u>ゾキンヴィ</u>) [2.1 参照]	本剤との併用により、ロナファルニブの血中濃度が上昇し、副作用が増強するおそれがある。	本剤はロナファルニブの代謝酵素 (CYP3A) を阻害する。																																

【改訂理由】

自主改訂

「2.禁忌」「10.1 併用禁忌」の項

ボルノレキサント水和物（ボルズイ錠／大正製薬株式会社）、パロバロテン（ソホノスカプセル／IPSEN 株式会社）及びロナファルニブ（ゾキンヴィカプセル／アンジェス株式会社）の電子添文の「2.禁忌」及び「10.1 併用禁忌」の項にポリコナゾールが記載されたことを受け、本剤の電子添文においてもこれらの薬剤を追記し注意喚起を行うことにいたしました。なお、本改訂は相互作用相手薬の電子添文との整合を目的とした改訂であり、弊社が実施した当該相互作用に関する臨床試験はありません。

また、本改訂内容と併せて、「11.2 その他の副作用」の項に記載している「血管浮腫」を「血管性浮腫」に記載整備いたしました。

《改訂内容につきましては医薬品安全対策情報（DSU）No.346（2026年7月）に掲載される予定です。》

お問い合わせ先：ファイザー株式会社 Pfizer Connect/メディカル・インフォメーション 0120-664-467
〒151-8589 東京都渋谷区代々木 3-22-7 新宿文化クイントビル

PMDA ウェブサイト「医薬品に関する情報」（<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>）に最新の電子添文及び医薬品安全対策情報（DSU）が掲載されます。
また、ファイザー株式会社の医療関係者向け製品情報サイト「ファイザーメディカル・インフォメーション」（<https://www.pfizermedicalinformation.jp/>）に製品情報を掲載しております。なお、以下の GS1 バーコードを「添文ナビ」で読み取ることで、もしくは以下の PMDA ウェブサイトより本製品の最新の電子添文等をご覧いただけます。

ブイフェンド錠 50mg/200mg



(01)14987114386301

ブイフェンドドライシロップ 2800mg



(01)14987114386806

ブイフェンド 200mg 静注用



(01)14987114386004

PMDA ウェブサイト ポリコナゾール（ブイフェンド錠 50mg/200mg・同ドライシロップ 2800mg）：
<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuDetail/GeneralList/6179001>

ポリコナゾール（ブイフェンド 200mg 静注用）：

<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuDetail/GeneralList/6179401>

